

# HEPHAIST®

Housing A

Housing B

それは価値を創造する個性ある集団です。

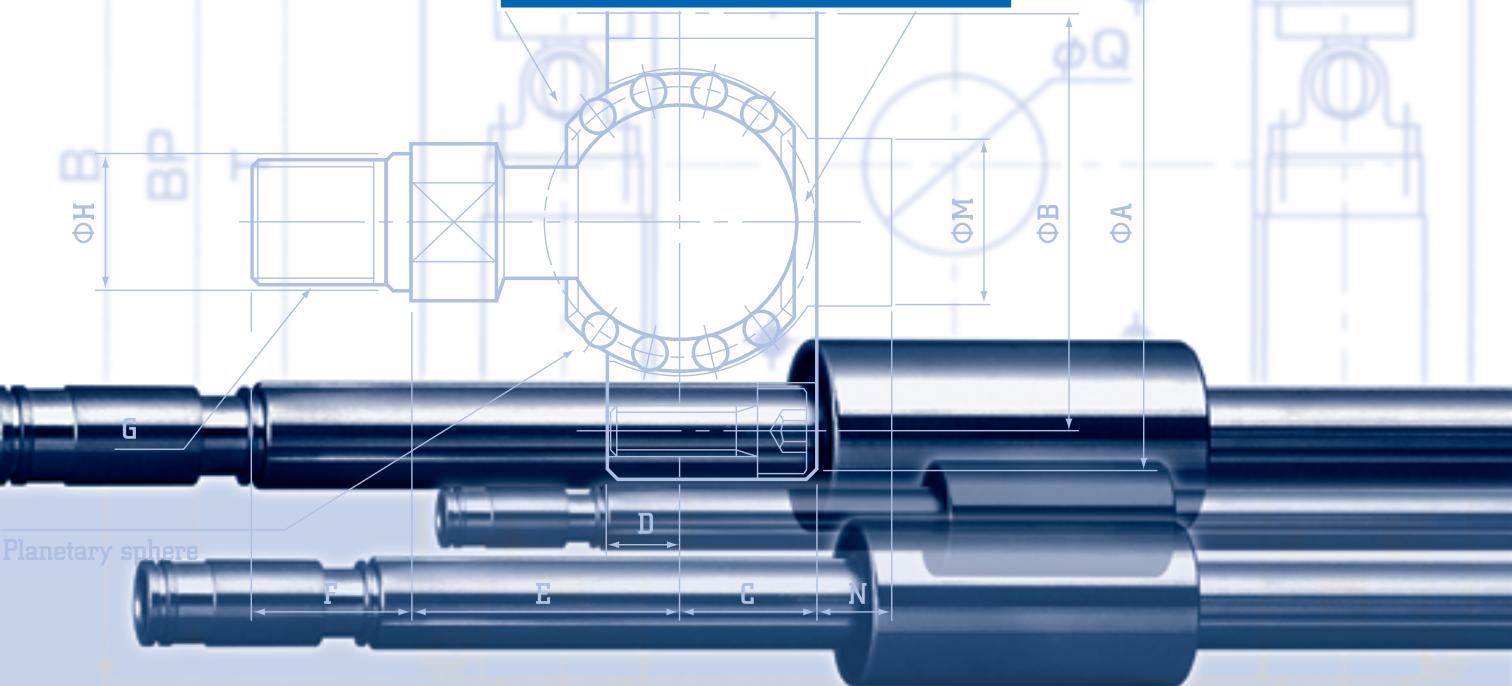
ΦK

## 第45期 報告書

2006年4月1日~2007年3月31日

Sun sphere

Retainer



Planetary sphere

当社は、創業以来一貫して直線運動機構の研究開発に取り組み、斬新で独創的、且つ合理的設計構造によるリニアベアリング製品を開発いたしました。当社はそれらの製品を通じて、高精度、高品質を特徴とするリニアモーションベアリングの専門メーカーとして独自の地位を築いてまいりました。

現在では、リニアベアリングのみならず、それらの長年蓄積した固有技術を生かし開発したポジショニングステージの製造販売、また次世代へのナノテクノロジーに取り組む応用製品の研究開発と事業化など、高精度な製品開発並びに業容の拡大を目指しております。

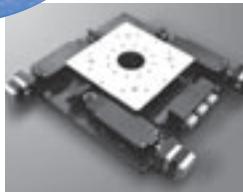
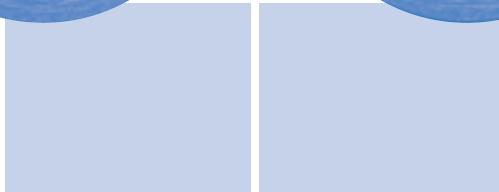
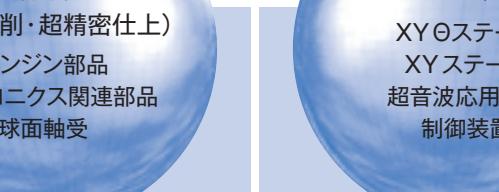
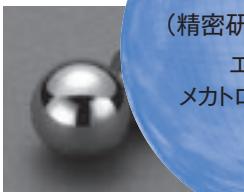
### リニアモーション

リニアブッシュ  
ボールスプライン  
サーキュラーアークローラガイド  
ストロークブッシュ



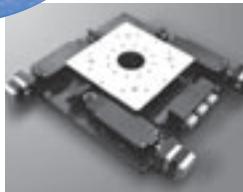
### 超精密加工

(精密研削・超精密仕上)  
エンジン部品  
メカトロニクス関連部品  
球面軸受



### システム製品群

XYθステージ  
XYステージ  
超音波応用製品  
制御装置



## 目次

事業概要	1	トピックス	5
株主・投資家の皆様へ	2	株式の状況	6
財務情報	3	会社の概要	6



## 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長 尾崎浩太

# Message

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。当社第45期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、原油や原材料などの価格高騰による影響が懸念されたものの、好調な企業収益を背景に設備投資が増加し、雇用環境の好転により個人消費が緩やかに改善するなど、景気は引き続き好調を維持しました。

このような経済環境のもとで、当社は技術開発体制を強化、独自技術を活用した新製品の開発を進めるとともに、積極的な営業活動を推進、また生産・販売の効率化を図り業績の維持向上に努めてまいりました。

まず、当社の主力製品でありますリニアベアリングにつきましては、ユーザーである産業用機械メーカーの生産増大に伴い、売上高は1,527,335千円(前年同期比7.9%増)となりました。

エンジンパーツにつきましては、モータースポーツ向けの受注がほぼ横ばいとなり、売上高は830,138千円(同0.7%減)となりました。

ポジショニングステージにつきましては、当初見込んでいました大型案件が来期以降にずれ込んだこともあり、売上高は162,864千円(同48.2%減)となりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高2,520,338千円(同1.8%減)、経常利益は研究開発費が増加したこともあり、334,731千円(同23.2%減)となり、当期純利益は、前期は土地売却益もあったこともあり、196,648千円(同38.2%減)となりました。

なお、本年度(第46期)は、配当金7円を予定しておりますが、業績の回復を最大の目標とし、できる限り株主の皆様へ還元してまいります。

今後もヒーハイト精工は、価値を創造する個性ある集団として、創業以来40数年に亘る固有技術と独自性を生かして、新しい時代の要求にお応えしてまいります。

### 創業精神

「挑戦してこそ好機が生まれる」高度な技術の探求とファインメカニカルへの飽くなき情熱が私たちの誇りです。「義」の心をもって真摯に応え、「新たな価値の創造を通じて、社会に貢献できる企業を目指す」「社員共生」「安定成長」という3つの経営理念のもとに、創造開発型企業を目指していく所存です。

### 価値を創造する個性ある集団

21世紀の多様で高度なニーズに対して、「ヒーハイトならではの新しい感覚で挑む個性ある集団でありたいと、考えております。常に一歩先の技術革新に挑戦し、社会に求められること、技術力と創造力による貢献をして参りたいと存じます。

### 終わりなき挑戦、ついでない情熱

こだわり続けて40年余。当社は創業以来、一貫として直線運動機構の研究開発に取り組み、独自の地位を築いて参りました。当社の強みは、設計思想でもある「軽薄短小」であります。今後はさらに保有技術でもあります球面加工技術等を駆使して、「終わりなき挑戦」が続いていきます。

また直動ベアリング以外の新たな製品開発にも「ついでない情熱」を燃やし続けてまいります。

未来から押し寄せる無限の波、新時代の多様で高度なニーズに限りなくチャレンジしてまいります。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜われますようお願い申し上げます。

2007年6月

## 貸借対照表

単位：千円

科目	45期 平成19年3月31日	44期 平成18年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,776,412	1,686,253
現金及び預金 ①	307,102	170,565
受取手形及び売掛金	988,025	966,377
棚卸資産	445,977	485,444
繰延税金資産	18,612	23,036
その他	17,585	41,797
貸倒引当金	△890	△968
固定資産	2,576,940	2,640,119
有形固定資産	2,440,747	2,508,887
建物及び構築物 ②	1,105,057	1,177,332
機械装置及び車両運搬具	223,921	226,347
土地	1,063,504	1,063,504
その他	48,263	41,702
無形固定資産	5,663	8,269
投資その他の資産	130,530	122,962
投資有価証券	7,596	7,564
繰延税金資産	104,185	97,364
その他	18,748	18,033
<b>資産合計</b>	<b>4,353,353</b>	<b>4,326,372</b>

科目	45期 平成19年3月31日	44期 平成18年3月31日
<b>負債の部</b>		
流動負債	971,019	1,159,571
支払手形及び買掛金	450,752	508,943
短期借入金	—	150,000
1年以内返済予定長期借入金	261,880	239,038
未払法人税等 ③	70,000	170,000
その他	188,387	91,589
固定負債	502,576	435,404
長期借入金	240,460	187,920
退職給付引当金	33,071	31,189
役員退職慰労引当金	229,045	216,295
<b>負債合計</b>	<b>1,473,596</b>	<b>1,594,975</b>
<b>資本の部</b>		
資本金	—	709,575
資本剰余金	—	656,535
利益剰余金	—	1,363,860
その他有価証券評価差額金	—	1,426
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>2,731,397</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>—</b>	<b>4,326,372</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	717,495	—
資本剰余金	664,455	—
利益剰余金	1,497,129	—
<b>株主資本合計</b>	<b>2,879,079</b>	<b>—</b>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	677	—
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>677</b>	<b>—</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,879,757</b>	<b>—</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>4,353,353</b>	<b>—</b>

## 貸借対照表のポイント

① 現金及び預金の増加は、運転資金投入によるものです。

② 建物及び構築物の減少は、減価償却によるものです。

③ 未払法人税等の減少は、前期に旧工場売却により特別利益を計上したことによるものです。

## 損益計算書

単位：千円

科目	45期	44期
	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
売上高	2,520,338	2,565,912
売上原価	1,551,501	1,599,007
売上総利益	968,836	966,905
販売費及び一般管理費	628,217	522,730
営業利益①	340,618	444,174
営業外収益	2,528	2,325
営業外費用	8,415	10,812
経常利益	334,731	435,687
特別利益②	78	198,804
特別損失②	134	62,995
税引前当期純利益	334,675	571,496
法人税、住民税及び事業税	139,913	258,077
法人税等調整額	△1,886	△4,824
当期純利益	196,648	318,243
前期繰越利益	—	105,617
当期末処分利益	—	423,860

## キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

科目	45期	44期
	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー①	301,316	201,431
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△62,688	△448,558
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△102,090	88,725
現金及び現金同等物の増減額	136,536	△158,401
現金及び現金同等物の期首残高	112,342	270,743
現金及び現金同等物の期末残高	248,879	112,342

## 株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

単位：千円

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計		その他の利益剰余金		利益剰余金合計					
				特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金						
平成18年3月31日 残高	709,575	656,535	656,535	10,000	—	930,000	423,860	1,363,860	2,729,970	1,426	1,426	2,731,397
事業年度中の変動額												
新株の発行	7,920	7,920	7,920						15,840			15,840
特別償却準備金の積立て(注)					2,784		△2,784	—	—			—
特別償却準備金の取崩し					△564		564	—	—			—
任意積立金の積立て(注)						200,000	△200,000	—	—			—
剰余金の配当(注)							△43,379	△43,379	△43,379			△43,379
役員賞与(注)							△20,000	△20,000	△20,000			△20,000
当期純利益							196,648	196,648	196,648			196,648
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										△749	△749	△749
事業年度中の変動額合計	7,920	7,920	7,920	—	2,220	200,000	△68,951	133,269	149,109	△749	△749	148,359
平成19年3月31日残高	717,495	664,455	664,455	10,000	2,220	1,130,000	354,909	1,497,129	2,879,079	677	677	2,879,757

(注)平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目です。

### 損益計算書のポイント

- ① 営業利益の減少は、研究開発費の増加及び建物不動産取得税発生により、販売費及び一般管理費が増加したことによるものです。
- ② 特別損益の減少は、前期は旧工場売却に伴う固定資産売却損益の計上によるものです。

### 株主資本等変動計算書のポイント

純資産の増加は、当期利益による利益剰余金の増加によるものです。

### キャッシュ・フロー計算書のポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、たな卸資産が減少したことによるものです。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローの増加は、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、借入金の返済によるものです。

### ヒーハイト精工、2008年4月からリニアブッシュを秋田工場に集約し一貫生産

(日刊工業新聞)



ヒーハイト精工は2008年4月から、リニアブッシュの生産を秋田工場(秋田市)に集約し、一貫生産する。リードタイムの短縮と仕掛品在庫の削減が狙い。従来は機械加工を秋田工場、組み立て、最終検査などを本社工場(埼玉県川越市)で実施していた。

秋田工場に生産を一本化すると同時に、外注していた部品の内製化を進める。大幅な費用は発生しない見通し。部品の輸送費の削減などが見込まれるという。

移管後の本社工場の空きスペース900平方メートルでの製造品目は未定。リニアブッシュは転がり運動を利用した直線運動機構で工作機械などの基幹部品として使われている。

### 人間搭乗型2足歩行ロボットに 応用された球面軸受

WL-16RIII(Waseda Leg-No.16 RefinedIII)は、30年以上にわたり2足歩行ロボット開発の歴史を持つ早稲田大学とテムザックが協力し開発した、「人間搭乗型2足歩行ロボット」です。

WL-16RIIIは、屋内外の階段や斜面を移動できる高齢者・歩行障害者用の2足歩行型いすの実現のための基礎研究として開発が行われ、その研究内容は機構の設計からデバイスの開発、歩行安定化制御アルゴリズムの研究まで多岐にわたっています。

ヒーハイト精工が開発した転がり球面軸受は高剛性、高精度を必要とするパラレルメカニズムにとって不可欠な要素機構です。



従来の滑りの球面軸受は大きな摩擦抵抗と内部隙間によって滑らかな動きに少なからず問題がありました。パラレルメカニズムを基本構造とする人間搭乗型2足歩行ロボットの足首にこの転がり球面軸受を装着することにより、スムーズな動作と耐久性を実現しました。



### モータースポーツのリトルリーグ支援「ARTA Challenge」に協賛しました。

ヒーハイト精工は、1962年創業以来40有余年モータースポーツ向けエンジンパーツの製造に深く関わってまいりました。0.001秒の速さを競うモータースポーツに提供するエンジンパーツは技術的要求が高く、その部品製造には独自のノウハウと高度な加工技術が要求されます。モータースポーツの発展とともに変化する技術的要求に真摯に取り組んだことにより、一つひとつの高度な技術を確実に蓄積することができました。この培った高度な技術と永年に

わたるエンジンパーツの製造から学んだ「モノづくり精神」は今日の独創的な製品を生み出す源となっています。

モータースポーツの発展とともに歩んできた当社は、「世界に通用するドライバーの育成」を掲げ、モータースポーツのリトルリーグ「子供たちのカートレース」に熱い思いをかける鈴木亜久里プロデューサーに心より賛同し、「ARTA Challenge」プロジェクトを応援いたします。



## 45th 株式の状況

### Stock Information

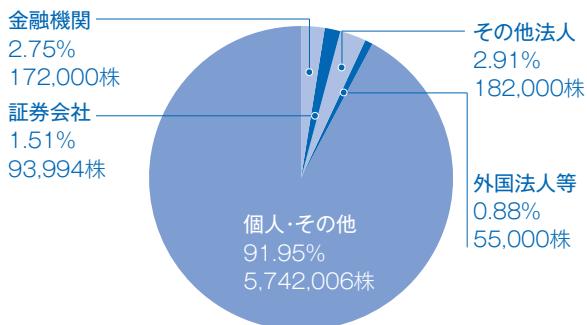
#### 株式の状況 (2007年3月31日現在)

- 会社が発行する株式の総数…………… 18,720,000株
- 発行済株式の総数…………… 6,245,000株

#### 大株主 (2007年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
尾崎 久壽彌	1,429	22.88
尾崎 浩太	810	12.98
尾崎 文彦	708	11.34
村上 潔	150	2.40
日本生命保険相互会社	100	1.60
廣瀬 和也	82	1.32
THK株式会社	50	0.80
バンクオブニューヨークシーエムクライアント アカウンツイーアイエスジー (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	49	0.78
ヒーハイト精工社員持株会	46	0.73
富岡 昭	43	0.68

#### 所有者別株式数 (2007年3月31日現在)



## 45th 会社の概要

### Corporate Data

#### 会社の概要 (2007年3月31日現在)

- 社名 ヒーハイト精工株式会社
- 本社 〒350-1151  
埼玉県川越市今福580番地1
- 埼玉工場 〒350-1151  
埼玉県川越市今福580番地1  
[敷地面積16,677m<sup>2</sup> 建物面積7,589m<sup>2</sup>]  
TEL 049-273-7000(代表)  
FAX 049-273-7001
- 秋田工場 〒010-1653  
秋田県秋田市豊岩小山字下田454番地  
(豊岩工業団地内)  
[敷地面積36,292m<sup>2</sup> 建物面積4,525m<sup>2</sup>]  
TEL 018-828-0111  
FAX 018-828-2231
- 設立 昭和37年7月19日
- 資本金 717,495,000円
- 従業員数 92人

#### 役員 (2007年6月28日現在)

代表取締役会長	尾崎 久壽彌
代表取締役社長	尾崎 浩太
取締役	木村 壮作
取締役	柴田 幸子
取締役	小川 好文
取締役	尾崎 文彦
常勤監査役	済木 條平 (2007年6月28日新任)
監査役	小松 隆一
監査役	富岡 昭 (2007年6月28日新任)



<http://www.hephaist.co.jp/>

## 株主メモ

- 決算日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 期末配当金 毎年3月31日(中間配当を行なう場合、毎年9月30日)
- 支払株主確定日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部  
フリーダイヤル0120-232-711
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
- 単元株式数 1,000株
- 上場証券取引所 ジャスダック市場
- 証券コード 6433

### (お知らせ)

配当金振込指定書用紙のほか、当社株式に関する事務手続き用紙(お届出の住所・印鑑・姓名等の変更届、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話並びにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

(本店証券代行部)	フリーダイヤル0120-244-479
(大阪証券代行部)	フリーダイヤル0120-684-479
インターネットアドレス	<a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

※本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。

# ヒーハイト精工株式会社

**JASDAQ**

証券コード6433